

電動アルミシャッター
安心の静かさ。 ござんさま
御前様
文化センター
☎0120-8817-39

やっぱり 創造技術
モノづくりを大切にします

web <http://www.jji.co.jp/>
THE JAPAN INDUSTRIAL JOURNAL

2003年は創刊70周年

購読お申し込み ☎0120-25-4946

フジサンケイグループの産業情報
日本工業新聞

主な記事

ベンチャー ジャストンがガス不要の連続噴射スプレー③
環境特報「自動車リサイクル法」が今国会で成立へ⑩⑪

決断力「吉田秀雄氏(電通)」スター

坂戸工作所①

ビルや大型構造物の解体
工事に欠かせない油圧解体
機。油圧ショベルの油圧装
置を動力源に、ベンチャ
ーの形をしたアタッチメ
ントでコンクリートや柱、
床などを破壊する。坂戸工
作所が世界ではじめて製品
化した。その後、大手メー
カーが相次いで参入した
が、同社の国内シェアは三
五%にも達する。わが国で
は二十年ほど前から普及が
始まったが、海外での普及
はある事件がきっかけとな
った。

油圧解体機誕生①

坂戸 誠一氏(さかと
・せいいち) 44年東京・
葛飾区生まれ。早大商学
部卒。67年油谷重工入
社、70年坂戸工作所に転



じ、73年取締役千葉工場
長。80年2月、父、正四
郎氏の死去に伴い代表取
締役に就任。全国工場団
地協同組合連合会会長の
ほか千葉鉄工業団地協同
組合理事長、千葉商工中
金会会長、千葉市産業振
興財団評議員など公職多
数。58歳。

《坂戸工作所》
社長＝坂戸誠一氏
住所＝千葉市花見川区
☎043・259・0131
業種＝解体機械製造業
資本金＝5720万円
設立＝1945年4月
従業員数＝30人
年間売上げ＝9億円

阪神大震災復旧工事で大活躍

油圧解体機は、壁の上部を
つかむと引きちぎるように
次々、壊していった。油圧
解体機が壁をどどん崩
し、撤去していく姿がテレ
ビを通じて全世界に報じら
れた。そのニュースのなか
で油圧解体機の先端部、黄
色に塗られたアタッチメン
トには「PACLER」

(パクラ)という商品名が
書かれていた。「パクラ」
の名前は一躍世界中に知ら
れることになった。
テレビ画面での「パクラ」
の活躍ぶりを「してや
った」とみていた一人の男
がいた。「パクラ」の製造
元、坂戸工作所の社長、坂
戸誠一である。「パクラ」

は坂戸が苦学に苦学を重ね
て商品化した油圧解体機だ
が、当時、欧州には商社を
通じて四十台近くが輸出さ
れていた。それまでどこ
で、どう使われていたのか
よくわからなかった「パクラ」
だが、なんとベルリン
の壁壊しの現場に登場した
のである。

二〇〇一年九月、米国・
ニューヨークで起きた米中
枢同時テロでは、崩壊した
貿易センタービルの解体作
業現場にも数多く投入され
ていたのが記憶に新しい。
――文中敬称略――
(論説委員長)

日本経済を支える約四
百八十三万社にのぼる中
小企業。近年は取引先の
大企業での事業再構築や
長引く景気低迷の影響を
受け、受注が減少し、か
つての活力を失いつつあ
る。

しかし、こうした中で
も独自技術に磨きをか
け、創意工夫で元氣一杯
の経営を続ける中小企業
の解体工事現場で活躍す
る油圧式解体機のトップ
メーカー、坂戸工作所
(本社・千葉市花見川
区)の巻。

現場レポート・元氣印経営の秘密



北野靖志の「元氣が行く」



阪神・淡路大震災後の復旧工事現場。ビルの解体には多くの油圧解体機が活躍した

コンクリートをパ
クラ食う機械から、
「パクラ」と名づけた
坂戸は、これで海外か
ら注文がくると確信
した。案の上、テレビ
を見た世界各地の建
設、解体業者から「パ
クラを売って欲しい」
「販売代理店契約を結
びたい」という問い合
わせが殺到した。

坂戸が「パクラ」の
原点となる欧州製のレ
ンガ壊し機を東京・晴
海で開かれていた建設
機械展で見つけ、父親
に頼み込んで一台購
入、これをベースに油圧解
体機を商品化してから十
一年の月日がたっていた。

「パクラ」など油圧解体
機はいまではビルなどの建
物の解体作業に欠かせな
い。七年前の一九九五年一
月七日早晩、約六千三百人
もの尊い人命を奪ったあの
忌々しい阪神・淡路大震
災。その復旧工事では二次
災害につながるかねない危
険な建物、崩れ落ちて道路
をふさいだ建物の解体に活
躍した。